



静岡県勤労者協議会連合会

HP <http://kinrokyo.net/shizuoka/>

e-mail 2023@kinrokyo.net

2024 年度原水爆禁止県民会議。 世界大会参加者結団式、平和大使任命式



去る 7 月 21 日、静岡市労働会館で『原水爆禁止県民会議、2024 年度定期総会&被災 79 周年原水爆禁止世界大会参加者結団式、第 27 第高校生平和大使・2024 年長崎派遣代表任命式』が午後 2 時より開催されました。

同会議では、県原水禁の橋本勝六代表委員が「ウクライナに侵攻したロシアのプーチン大統領が核使用の威嚇をしたり、北朝鮮が核開発を進めたりしている他、今月には米上院議員らが広島・長崎への原爆投下を正当する発言をするなど、核兵器廃絶への道のりは厳しさを増加させている。その結果、核拡散防止条約（NPT）体制の弱体化も懸念されています。

化も懸念されています。

「今年の原水禁世界大会は、2025 年が『被爆 80 周年』を迎える事から多くの課題を提起されています。核拡散防止条約（NPT）は核軍縮・核不拡散・原子力のへ平和利用を 3 本柱として 1970 年に発効されました。米国、ソ連(現・ロシア)、英国、フランス、中国の 5 カ国に核兵器保有を認める代わりに、核軍縮交渉に誠実に取り組むように義務付けた。一方、他の条約国には核兵器の製造や取得を禁じています。

次回の「核兵器禁止条約締約国会議」は、2025 年 3 月開催される予定です。同会議の焦点は『核のリスクが高まる中でも、条約の締約国やオブザーバー参加国を増やしなが、核軍縮に向けた機運を高めていく』ことです。

従って、県内における「原水禁運動(夏季の平和ミニ集会等)」を職場と地域から盛り上げる運動を強化していきましょう。更に、「高校生平和大使」の皆様も活動を展開しています。『明るい未来と平和な社会を築く』ために、私たちも支援の輪を拡大していきましょう。一と、訴えました。

続いて、連帯の挨拶として県平和国民運動センターの福井淳会長は「現在、国内では数多くの直下型地震が想定されています。浜岡原発をはじめとした全国の原発の再稼働に反対」していきましょう。

併せて、「さよなら原発 1000 万人アクション」を発展させ、広島、長崎、ビキニ、JOC、そして福島原発震災とそれにつづく被爆者の実態を見つめ、反核、被爆者援護、脱原発の運動を進めていきましょう」と、訴えました。

同総会では経過報告を承認した後、議事として「2024 年度活動方針」「2024 年度役員選出」が提案されましたが満場一致で可決されました。

高校生平和大使・長崎派遣代表とは・・・

1945 年 8 月 6 日、広島、8 月 9 日、長崎に原子爆弾が投下され甚大な被害が生じました。被爆者は、人類が再びこのような悲劇を被らないよう核兵器の廃絶を心から願ってきました。

ところが 1998 年インドとパキスタンが相次いで核実験を行い、これに強い危機感を懐いた被爆者は『核兵器の廃絶と平和な世界の実現を求め、被爆者に代わって直接、国連に訴えてもらうために高校生を国連本部に派遣しました』これが、高校生平和大使の始まりです。

核実験により第 5 福竜丸が被爆し、犠牲者を出した静岡県からも平和な世界の実現を求める高校生平和大使を輩出したいとの思いから、2012 年から大使を派遣しています。また、長崎派遣代表については、全国の高校生と平和の問題を語り合い、その思いを静岡からも発信してもらうために選出しています。

◆『高校生平和大使・高校生 1 万人署名活動 しずおかニュース(2024 年 7 月)』より

第 27 代高校生平和大使、2024 年度長崎派遣代表の紹介

第27代高校生平和大使	2024年長崎派遣代表	2024年長崎派遣代表
		
氏名 谷河 優那	水野 可麗	桑田 陽菜
ふりがな やがわ ゆうな	みずの かれん	くめた はるな
高校名・学年 東海大静岡翔洋高校3年生	不二聖心女子学院高校2年生	橋原高校3年生
住所 静岡市	熱海市	吉田町

編集者から原水禁世界大会に向けて、読者へのアピール

◆編集者は 7 月から「勤労協ニュース 8 月号の編集作業」に着手しています。その第 1 号が 7 月 21 日に開催されました「原水禁県民会議総会」です。しかし、7 月 26 日に「原水禁世界大会も例年通りに進むもの」と、思っていたが『原爆記念日の式典、周辺での「平和運動」を締め出しへ公園一帯で「入場規制」、プラカードやのぼりは禁止』が目に入りました。

上記の結果、編集内容を以下の内容に変更させて頂きました。1. 広島原爆の日の式典、「平和運動」を締め出しーに関する記事。2. サイパン陥落 80 年 島嶼戦は住民犠牲招く。第 3. 原資爆弾の模擬爆弾投下ーの 3 記事を掲載させて頂きます。

上記の内容は各地区で開催される「平和集会」に参考資料になるものと考えています。是非ともご利用して下さい。なお、8 月に開催される各地区の「平和集会の報告」は 9 月号で『原水禁特集号』で掲載させて頂きます。

広島原爆の日の式典、周辺での「平和運動」を締め出しへ 公園一帯で「入場規制」、プラカードやのぼりは禁止

◆東京新聞 2024年7月26日

8月6日の広島市の平和記念式典で、原爆ドーム周辺を含めた平和記念公園の全域に入場規制を広げる市の方針が波紋を広げている。メイン会場から離れたエリアも手荷物検査を受けないと入れず、プラカードやのぼりの持ち込みを禁止。安全対策を理由とするが、法的根拠はなく行きすぎた表現規制との懸念も。背景には近年の平和行政の変質も指摘される。(山田雄之、山田祐一郎)

◆物議を醸した「園内での禁止行為」

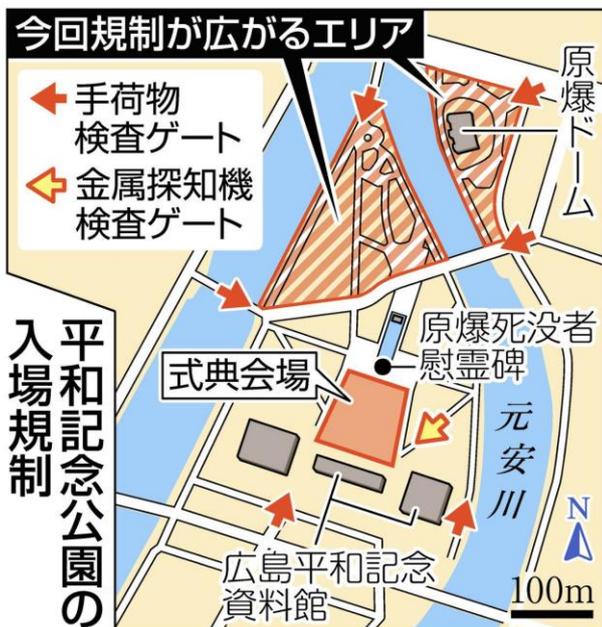
広島市は5月、平和記念式典で、入場規制エリアを昨年まで対象外だった原爆ドーム周辺を含む公園全体に広げる「安全対策」を発表した。当日午前5～9時に入場規制し、6カ所のゲートで手荷物検査を行うとした。

これに加えて物議を醸したのが園内での禁止行為。「式典の運営に支障を来す」としてマイクや拡声器のほか、プラカードや横断幕の持ち込み、はちまきやゼッケンの着用まで禁じ、従わなければ退去を命令することがあるとした。

規制強化の理由としたのは今年の式典の際、原爆ドーム周辺で市職員に活動家の集団が腕を組んでぶつかるなどした「衝突事案」だ。5人が暴力行為法違反の疑いで逮捕、起訴された。

松井一実市長は記者会見で「参列する市民の安全を最優先に考えての措置」と強調。「原爆ドームや供養塔の周辺で毎年、慰霊に関する行事をしている団体もあると思うが」と問われると、「今までのような集会はできなくなるかと思えますね」と淡々と応じた。

◆「核廃絶の思いを自由に伝えたいと考える人は多い」のに



被爆者たちの受け止めはさまざま。広島県原爆被害者団体協議会の箕牧(みまき)智之理事長(82)は「こちら特報部」の取材に「騒動を起こす人がいることも事実。犠牲者を追悼するために厳粛に式典を行いたい。規制は仕方ない」と理解を示す。一方、もう一つの県被団協の佐久間邦彦理事長(79)は「祈る場所には必要以上に制限されるべきではない。反戦や核廃絶の思いを自由に伝えたいと考える人は多い」と話した。

6月上旬、日本ジャーナリスト会議(JCJ)広島は「ゼッケンなどの着用禁止は表現の自由に抵触する。取り消すべきではないか」と市長あての質問状を出した。JCJ広島幹事の難波健治さん(76)は「そもそも式典を巡る問題は騒音だった。いつのまにか安全の問題にすり替わった」と強調する。

◆「条例は関係なく法的根拠はない」

どういうことか。会場周辺のデモで拡声器が使われたことを受け、市が2019年に参列者に行ったアンケートでは、音が聞こえたという人の約6割が「式典に悪影響がある」と回答。市議会は21年、議員提案された「市民の理解と協力の下に、厳粛の中で行う」と定めた市平和推進基本条例を賛成多数で可決した経緯がある。ただ「厳粛」の具体的な規定はなく、県弁護士会などは「市民の表現を萎縮させる」と懸念を示していた。

公園からの退去などを市民に強制できる根拠はあるのか。市の市民活動推進課の担当者は取材に対し、手荷物検査や禁止行為による退去命令について「条例は関係なく法的根拠はない」と断言。

「安全な式典にするための必要最小限の規制。表現の自由を制限するとは思わず、あくまでご協力いただくもの」と述べた。プラカードなどを使って平和や核廃絶を訴えたい人については「規制終了後や公園外でしてほしい」と話した。

◆「ここまであからさまな表現の自由の制限は…」

デモの音量に対する「騒音規制」の問題だったはずが、いつの間にか目的が「安全対策」にすり替わったという今回の出来事。広島大の田村和之名誉教授（行政法）は「別の場所から大音量が発せられる可能性があり、騒音問題の解決になるのか疑問だ」と話す。

「式典が安全に行われることに異論はないが、論理の飛躍だ。差し迫った危険の発生が具体的に予見されるわけでないのに、短時間とはいえ拡声器やプラカードといった表現活動を禁止するのは言論の自由や集会の自由の制限に当たる」と憲法違反を指摘する。その上で「ここまであからさまな行政による表現の自由の制限は最近、目にしたことがない」とあきれろ。

松井市長は5月の会見で、衝突事故の再発防止のため、式典会場外の区域も式典会場と位置付けて規制する考えを説明した。田村さんは「式典として使用実態がない場所は自由利用が原則であり、市長の説明は詭弁（きべん）だ」と批判。都市公園法の原則に反し、正当な理由なく住民の公共施設利用を拒んではならないとする地方自治法にも違反するとした上で「屋外の平和公園で式典を行う以上、騒音は避けられない。行政が必要以上に規制すれば、異を唱える人を排除することになる」と危ぶむ。

◆広島市の平和行政が変質していないか

2023年度に差し替えられる前の平和教材の「はだしのゲン」のページ



近年、広島市の平和行政を巡っては平和団体が懸念を示す問題が相次いできた。広島市教委は、平和学習教材に引用掲載してきた漫画「はだしのゲン」や、1954年にビキニ環礁で米国の水爆実験で被ばくした「第五福竜丸」の記述を2023年度から削除。市民団体が実施したオンライン署名では、約半年間で削除に反対する声が5万9000筆以上寄せられた。

昨年6月には広島市の平和記念公園と、旧日本軍の真珠湾攻撃を伝える米パールハーバー国立記念公園が姉妹協定を締結。同年9月の市議会で市幹部が、米国の原爆投下の責任議論を「現時点では棚上げにする」と答弁し、被爆者団体などから批判を受けた。今年の式典を巡っても、パレスチナ自治区ガザへの攻撃を続けるイスラエルを招待する方針を表明。ウクライナ侵攻以降、招待していないロシアへの対応との違いを「二重基準」と会見で指摘された松井市長が声を荒らげて否定する場面もあった。

「根拠やプロセスを説明しないという松井市長の政治姿勢が年々、顕著となっている」と指摘するのは広島市立大の湯浅正恵教授（社会学）。「行政は法律や条例の規則に基づいて政策決定をするべきなのに、納得できる説明がない状況が続いている」。7月には突如、来年以降の式典招待国の基準も見直す考えを示した松井市長。湯浅さんは「近年にない特殊な状況」と受け止める。

◆ 「アメリカのご希望に沿う岸田首相、追従する広島市」

「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」は先進7カ国（G7）広島サミット後の昨年7月、「広島市平和行政の変質を問う声明」を発表し、現状への危機感を訴えた。

共同代表を務める森滝春子さん（85）は「広島市の平和行政の変質は、原爆被害が見えなくなることを望む米国に沿った岸田首相の政策に、市が追従していることによって起きている」と危ぶむ。「G7の広島ビジョンも米国の核の傘の下での核抑止論を肯定する内容。その場所に広島が利用された」と批判する。

今回の入場規制が原爆被害の実相を伝える上での悪影響を及ぼすのではないかと懸念する。「世界や日本から原爆被害者を悼みに来るのに、法的根拠なく入場を厳しく規制すれば、近づかない方がいいという人が出るかもしれない。被爆者が減る中、マイナスの効果しかない。それを止められないのは歯がゆい思いだ」

◆ デスクメモ

前に公園内の韓国人原爆犠牲者慰霊碑に足を運んだ。日本は米国の原爆の被害者だが、アジアとの関係では加害者でもある。立場の違いも含め原爆の実相を知り、犠牲者を悼み、核なき世界を願う場と思ってきた。戦後79年の夏空に「NO WAR」と掲げられる公園であってほしい。（恭）

<社説>サイパン陥落80年 島嶼戦は住民犠牲招く

◆ 琉球新報社説 2024年07月07日



サイパン

太平洋戦争末期の重大局面となったサイパン島の日本軍壊滅と、南西諸島の集団疎開決定からきょうで80年がたつ。南洋の島々の悲劇を振り返り、不戦を誓う日だ。

日本の委任統治領で多くの沖縄出身者が移り住んでいたサイパン島やテニアン島など旧南洋群島の戦いは、民間人を巻き込む悲惨なものとなった。その悲劇は1年後の沖縄戦で繰り返された。海に囲まれ逃げ場のない島嶼（とうしょ）戦は必ず住民犠牲を招く。それは現在進められる南西諸島の要塞化の行き着く先を示している。

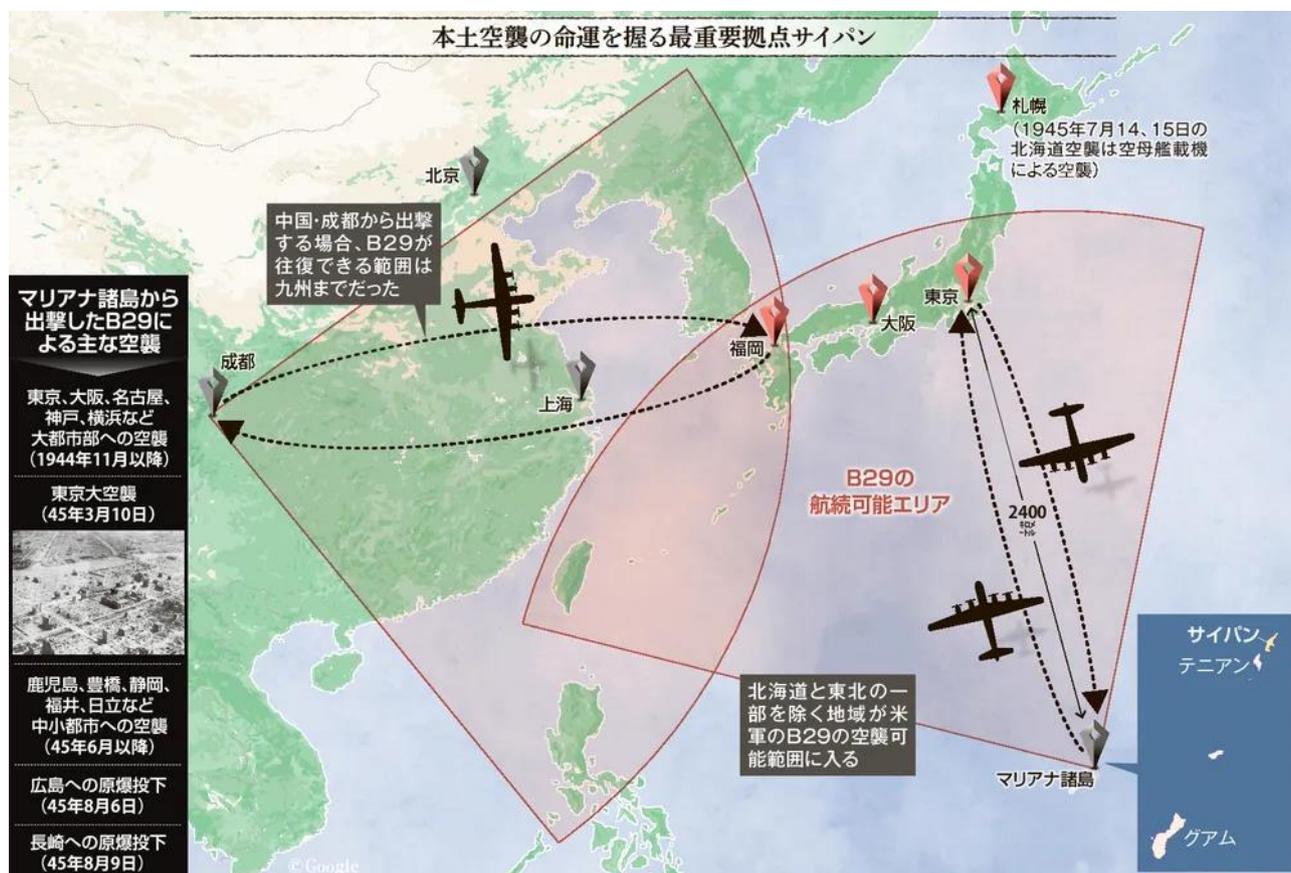
政府は「台湾有事」を想定した先島住民の避難計画の策定を進めているが、サイパン戦でも沖縄戦でも住民の疎開は失敗した。島の暮らしを守るには軍事を持ち込んではいけない。戦争に備える動きを止めなければならない。

サイパン戦は「もう一つの沖縄戦」と呼ばれる。日本軍は、日本本土を守るために確保しなければならない区域として千島列島からマリアナ諸島、ミャンマーなどを結ぶ広大な防衛線を「絶対国防圏」と決めた。絶対国防圏の一角だったサイパン島を巡る日米両軍の攻防は苛烈を極めた。疎開住民を乗せた船が沈められるなどして、小さな島に軍民が混在する戦場となった。

在留日本人2万人のうち1万人近くが犠牲になった。その中でも約6千人が県出身者とみられて

いる。艦砲射撃と空襲の中を壕から壕へと逃げ惑う住民が日本兵に壕を追い出されたり、投降しようとして殺害されたりする悲劇が起きた。最北端の崖から身を投げ、手りゅう弾を爆発させて命を絶つ人が相次いだ。

1944年7月7日、日本軍の指揮官が自決し、残存兵力も壊滅したことで、サイパン島の組織的戦闘は終結した。次に米軍が侵攻するのは沖縄だと判断した政府は同日、南西諸島の老幼婦女子10万人（九州8万人、台湾2万人）の疎開を緊急閣議で決定し、沖縄県知事に命令した。



しかし制海・制空権を米軍に握られ、同8月22日に疎開学童らを乗せた対馬丸が米潜水艦の魚雷攻撃で沈められる。10月10日には南西諸島全域に波状的な空爆があり、那覇市は火の海となった。そして翌年には沖縄も最悪の地上戦へと至る。

本土防衛の「捨て石」「持久戦」に住民を巻き込んだ軍、国家の責任は重い。サイパンも沖縄も同じ構図であり、その教訓は「軍隊は住民を守らない」ということだ。

現在、米軍は中国を念頭に南西諸島から台湾、フィリピンを結ぶ線を防衛上の「第1列島線」と位置付ける。「抑止力」と称し、自衛隊も一体となり沖縄の軍事拡張を急いでいる。このまま沖縄が現代の「絶対国防圏」に組み込まれれば、抑止力が破綻した先に行き着くのは破滅である。

周辺の国々との良好な関係によってしか島嶼地域の安全は保障されないことを、歴史に学ばなければならない。

18 都府県で米軍 模擬原爆 最初の投下地・北茨城市に碑建立 市民有志「平和のため事実伝えたい」

◆東京新聞 2024年7月17日

広島・長崎への原爆投下の前、米軍が訓練のため日本各地で爆弾「模擬原爆」（米軍通称「パンブキン爆弾」）を落とした。その最初の1発が落とされたのは1945年7月20日、茨城県北茨城市だった。それから79年、市民有志が「平和のため事実を後世に伝えたい」と、市内に石碑を建立した。（竹島勇）

「民 忘るべからず」ー。パンプキン爆弾をかたどった石碑に、大きく彫られた文字。裏面には、日本地図上に模擬原爆が着弾した 49 カ所の印と着弾日が示されている。地図には他に 2 カ所の赤い印もある。広島と長崎だ。

碑の裏面には、模擬原爆が投下された場所や日時が日本地図に記されている。

「模擬原爆北茨城着弾地之碑」と名付けられた石碑は御影石製で、高さ 0.9 メートル、幅 1.8 メートル（台座部分除く）。着弾地調査などを続けてきた同市の農業野口友則さん（52）と、石材業を営む神永峰敬（みねひろ）さん（85）が建てた。野口さんの父友朗（ともお）さんも調査の傍ら碑の建立に尽力したが、2020 年 4 月に病気で亡くなり、2 人が遺志を実現した。



模擬原爆は長さ 3.5 メートル、直径 1.5 メートル、重さ 4.5 トンで、長崎に落とされたプルトニウム型原爆「ファットマン」と同サイズ。高性能爆薬が詰められ、カボチャのようなずんぐりとした形状からパンプキン爆弾と呼ばれた。

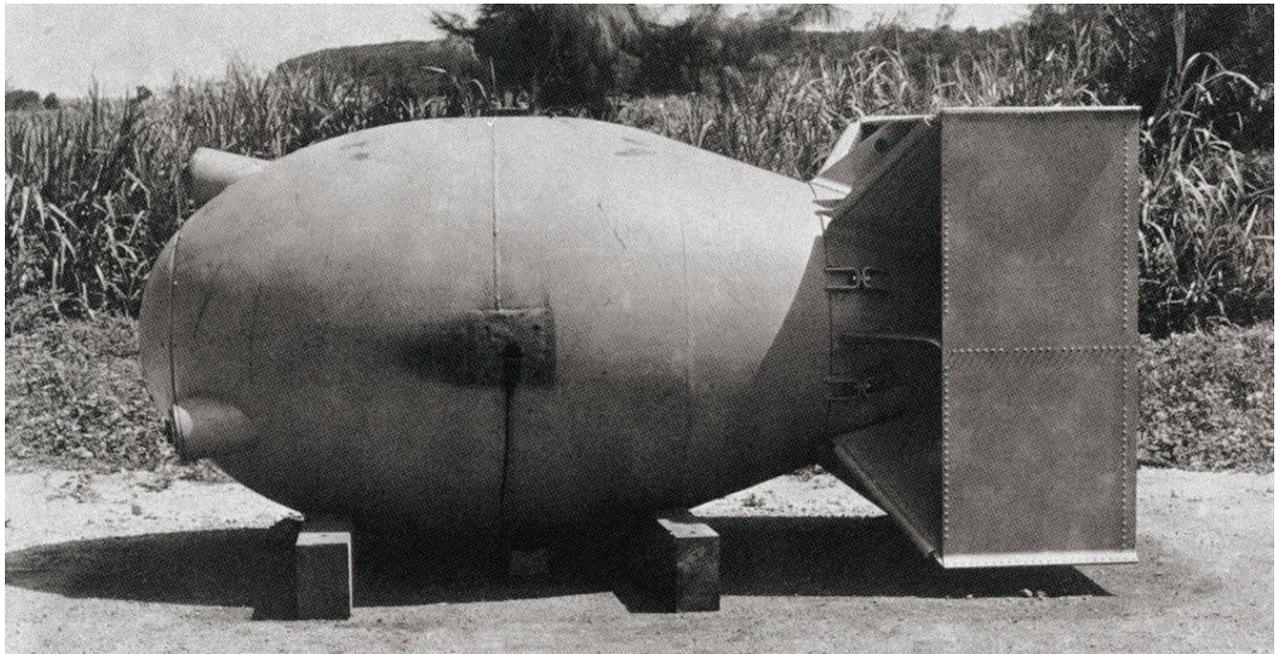
米軍は広島、長崎への原爆投下の予行練習として日本各地で模擬原爆による爆撃を行い、45 年 7 月 20 日の北茨城市や同 26 日の日立市などを含め 18 都府県に 49 発が着弾した。全国で 400 人以上が犠牲となり、1200 人以上が負傷したとされる。

野口さんらは、石碑の建立趣旨を説明する文章に「広島、長崎の壮絶な原爆被害のはじまりはここ北茨城市にあった」と記した。北茨城市に模擬原爆が投下された事実は、米軍の資料からも確認できている。ただ、幸い死傷者がなかったためか、空襲についてまとめた「北茨城市史」に記録はなく、正確な着弾地は確定していない。

野口さんによると、郷土史家が住民に行った近年の聞き取り調査などから、着弾地は同市磯原町の北東部の山林内で、現在は太陽光発電会社がソーラーパネルを設置している場所と推定されるという。

友朗さんも生前、その場所での碑建立を模索する一方、市が市有地に造るよう打診していたという。結局どちらも実現せず、今回の石碑建立に当たっては、着弾地と推定される場所から南東約 1.2 キロの磯原町内に決めた。

石碑造りでは、神永さんが長年培った技術が生きた。「この年齢までこの地で石材業で働かせてもらった。自分ができることで、北茨城に模擬原爆が落とされた事実を次の世代に伝えたいとの思いで造った」と話す。これまで客の注文を受けて石を彫ってきた神永さんにとって、石碑は初めての「作品」になった。

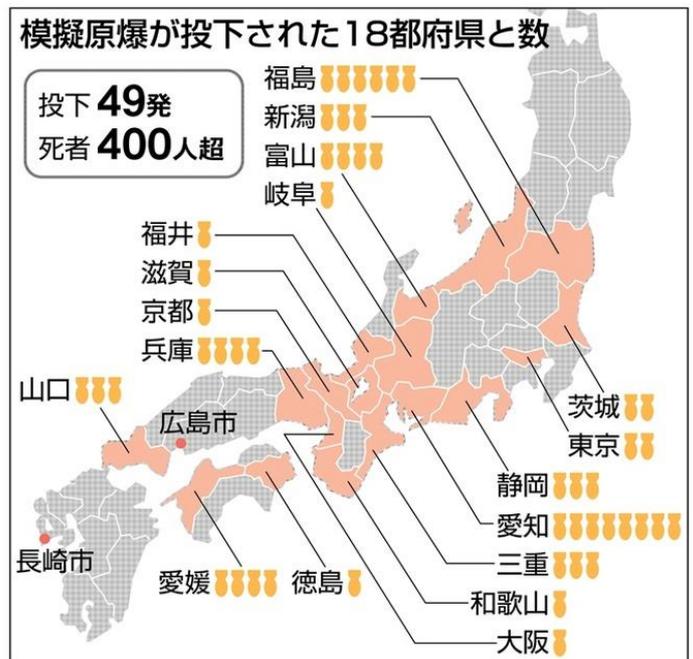


(上写真：日本本土爆撃の基地となったテニアン島の飛行場に置かれたパンプキン（米国立公文書館所蔵、工藤洋三・金子力著「原爆投下部隊」より）

碑の趣旨の文章は、こう続いている。「北茨城の模擬原爆を忘れず、原爆の被害を身近に感じ、その痛みを自分のことと想像し、核兵器使用を否定するところを持ち続けていただくことを願い、地域の方々の平和への思いも込め、この石を残す」

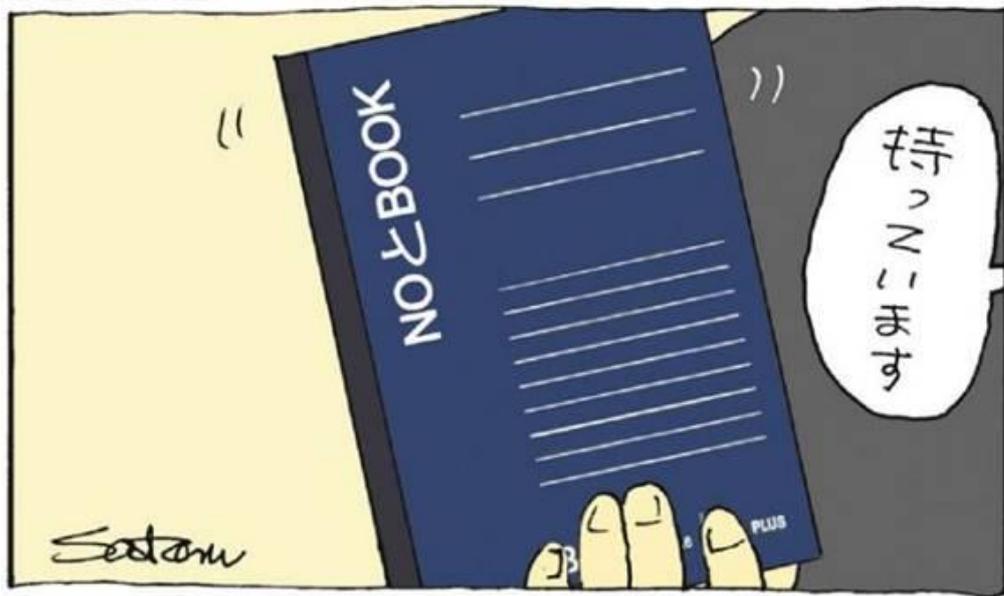
静岡県へ3発が同日7月26日に島田と浜松、焼津に投下されました。島田市扇町公園横の普門院にはパンプキン爆弾の破片痕が今も残っています。

(文責：秋山一 静岡県勤協連)



各地区の平和ミニ集会のご案内

- 清水勤労協 平和パネル展「原爆と峠三吉の詩」 8月1日(木)～14日(水)
清水辻生涯学習交流館(清水区宮代町5-75)
- 掛川市勤労協 「非核平和展 アクション14 忘れてはいけない戦争の記憶展」
8月14日(水)～17日(土) 掛川市中央図書館学習ホール(掛川市掛川1148-1)
- 袋井市勤労協 「第16回平和写真展 ビキニ被爆70年・原爆と戦争展」
8月11日(日)～20日(火) 袋井市役所2階 市民ギャラリー(袋井市新屋1-1-1)
- 非核平和都市ふじえだ・市民の会「非核・平和写真展」戦争も核兵器もない平和な世界をめざして
 - ・葉梨地区交流センター 8月9日(金)10～17時 8月10日(土)9～15時
 - ・西益津地区交流センター 8月13日(火)10～17時 8月14日(水)9～15時
 - ・稲葉地区交流センター 8月20日(火)10～17時 8月21日(水)9～15時



つもる話は アフター ファイブに。

仕事帰りにサクッと
夕方チャットで
お気軽に相談

2つの「相談会」
働く人に便利な

水曜よりみち相談会
17:00~19:00
毎週水曜日 夕方

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!

ローンのこと、**お金**のこと。
ご相談内容が充実。
住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、個人年金保険の
ご相談もお取扱いします。*2
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

はずむ話は デイ タイムに。

日曜にじっくり。
家族一輪がナイス。

日曜のんびり相談会
9:00~12:00 13:00~16:00
毎週日曜日

県内(ろうきん)のローンセンターで開催中!

週末はご家族で。
3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
お客様の声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店
●浜松中央ローンセンター
●静岡中央ローンセンター
●富士ローンセンター

*1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。 *2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。

<ろうきん>が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの<ろうきん>へ。

お近くの(ろうきん)はこちらから!

スマホでアクセス!

いつもあなたの目線で。

静岡ろうきん

お問合せ・ご予約は

ビボパdeろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
0120-609-123

インターネットホームページ
<https://shizuoka.rokin.or.jp>

大切な住宅と家財を、火災・自然災害から守る住まいの保障

住まいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

point

自然災害の保障が充実
古い住宅や家財でも「再取得価額」で保障
住宅の焼破損割合が70%で全焼扱い
365日・24時間事故受付

基本の保障

火災共済

火災などのとき
落雷の被害も保障の対象です。

台風・降雪などのとき

地震・台風などを幅広くカバー!

自然災害共済

地震などのとき

台風・降雪などのとき
火災共済よりも保障額がさらに手厚くなります。

*自然災害共済単独でのご加入はできません。

自然災害共済 には2つのタイプがあります。

手厚い保障の **大型タイプ** 手頃な掛金の **標準タイプ**

どちらか1つお選びいただけます。

+ 特約でさらに安心をプラス

① 類焼損害保障特約 ② 個人賠償責任共済
③ 盗難保障特約 ④ 借家人賠償責任特約

こくみん共済 NEWS
18228013

公式キャラクター
ビットくん

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご確認ください。

たすけあいの輪をむすぶ

静岡推進本部
(静岡県労働者共済生活協同組合)

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会

お問い合わせは
所属団体まで